

# 『未来応援 住みたいまち たつの』

令和8年度の施策と取組を  
市民の皆さんにお伝えします。

本市は昨年、市制施行20年の節目を迎えました。市民憲章の制定や記念事業の開催を通じて、「ふるさと たつの」への愛着と誇りが市民に浸透していることを実感し、更なる飛躍と次世代へ繋がるまちづくりの必要性と重要性を再認識した年となりました。国におきましては、責任ある積極財政のもと「強い経済を実現する総合経済対策」が打ち出されています。本市におきましても、物価高から市民の暮らしを守り抜くことを優先施策とし、「たつの市民生活応援商品券」の発行をはじめとして、市民・事業者への迅速な支援に取り組んでいきます。

本市が直面する最大の課題は、人口減少への適応です。本市が目指すべき方向性は、人口減少のスピードをできる限り抑え、すべての市民が将来に希望を持ち、豊かさ幸せを実感できる持続可能なまちを築いていくことです。そのため、「普遍的な子ども・子育て政策」、「市民誰もが健康で生き生きと暮らせる福祉政策」、「地域活性化

と雇用創出に資する企業誘致政策」を加速させることに加え、これまでに芽吹き、育ち始めた施策を進化・成長させます。

また、市民の生命と財産、暮らしを守ることは行政最大の使命です。自然災害への備えを強化し、安全安心な生活基盤の強化を進めます。

令和8年度は、市の最上位計画である「第2次たつの市総合計画」の最終年度です。次期総合計画の策定に当たり、本市の目指すべき将来像を明確にし、市民一人ひとりが笑顔と希望を持って暮らせるまちづくりに向け、責任と覚悟を持って市政を勇往邁進していきます。

## 1 健康で未来を育む まちづくり

市民総合健診では、特定健診の対象年齢を30歳以上から20歳以上へ引き下げます。HPV検査を導入している子宮がん検診は、無料対象者を拡充

し、受診負担の軽減を図ります。さらに、60歳以上を対象に、かかりつけ医での「もの忘れ検診」を自己負担なく実施し、認知症高齢者等の早期発見と継続的な医療や介護等に繋がります。子ども・子育て家庭の健康増進に向け、新たに妊婦へのRSウイルス予防接種の実施や産婦健康診査費用の助成を行います。加えて、5歳児を対象に健康診査の実施、4.5歳児へのフッ化物洗口によるむし歯予防対策、インフルエンザ予防接種助成を中学3年生まで拡大します。

また、就労要件を問わず時間単位で定期的利用できる「こども誰でも通園制度」を実施し、市内初となる病児保育を実施する民間事業者に対し、施設整備費用を助成します。

不登校児童生徒への対応として、市内小中学校で不登校支援員の増員や校内サポートルームの増設、フリースクール等へ通う児童生徒の支援を行います。

中学校の部活動は、生徒の多様な

## 2 まちの魅力と活力にあふれるまちづくり

二丁ズに因るため、学校部活動で実施する「地域連携」と認定地域クラブで活動する「地域展開」を両輪とする取り組みを推進します。

(仮称) はりま新宮小中一貫校の整備は、旧校舎の解体作業及び新校舎の建設工事に着手し、小中一貫校で使用する新宮温水プールは、大規模改修工事に伴う施設設計業務を進め、新宮こども園も移転に向けた業務に着手します。また、御津中学校は、老朽化に対する施設整備方針の策定に向け、用地測量業務を実施します。御津地域の人工芝多目的グラウンドは、第2期工事を進めます。

人口減少社会に適応した持続可能なまちづくりの指針「たつの市都市計画マスタープラン」を策定し、将来を見据えた都市計画ビジョンを示していきます。

本竜野駅周辺では、「中心市街地複合施設基本構想」を踏まえ、中心市街地に新たな活力と賑わいを創出する「多世代交流・地域共生の拠点」として整備を進めます。さらに、東竜崎駅、千本駅周辺の環境整備にも取り組めます。

開業90周年を迎えるJR姫新線の維持に向け、引き続き強く国やJR西日本へ要望するとともに、利用促進に努めます。

「龍野1C周辺まちづくり区画整理事業」は、大型商工業施設の誘致や県

道4車線化の実現、市道の新設、公園等の整備を進めます。龍野西1C周辺の新たな産業団地は、市場の動向を注視し事業化を検討します。創業支援では、第二創業も支援対象に加え挑戦する経営者を応援するとともに、高校生を対象に保護者同伴型の事業所説明会を開催し、若者の市内就業と、市内企業の人材確保・若者定住に繋がっていきます。

世界の梅公園内の「尋梅館」、「唐梅閣」は、建物の耐力度調査を実施し、今後の活用方を検討します。また、

## 3 安心して快適に暮らせる まちづくり

主体的に本市の魅力を発信するプロモーション人材の発掘・育成や定住自立圏構成市町と連携し、インフルエンサーを招聘した観光プロモーションの展開、東京・大阪で開催される移住相談会への参加を通じ、「住んでよし訪れてよし たつの」を発信していきます。

酷暑による健康被害を防止するため、小学校屋内運動場への空調設備を順次整備し、小学校にウォーターサーバーを配備します。また、屋外で活動される高齢者グループへは、簡易テントの購入費用を助成します。

地域公共交通は、「たつの市地域公共交通計画」を改定し、すべての市民が安全快適に移動できるよう公共交通サービスを構築していきます。また、コミュニケーションバスは、バスロケーションシステムを導入し、市民乗り合いタクシーについては、新宮地域の区域外運行の実証実験を行います。

高齢者のデジタルデバイス解消に向け「近所デジタルマイスター」によるスマホ相談会や移動型スマホ教室を開催し、誰もがデジタル社会の恩恵を享受できるように努めます。

最後に、職員が安心して業務を遂行できるように、庁舎内防犯カメラの増設や電話録音装置を導入し、カスタマーハラスメント対策と市民サービス及び職員資質の向上、業務効率の改善に繋がります。



物価高騰対策として、全市民を対象とした「生活応援商品券」の配布、家庭用蓄電池の導入支援、農林畜水産業者及び介護サービス事業者等への事業継続支援を実施します。さらに、マガキ大量へい死により、甚大な被害を被った養殖業者へは種苗購入費用を支援します。

発災時の支援体制強化のため、県内統一の被災者生活再建支援システムを導入し、罹災証明書発行の迅速化を図るとともに、自主防災組織による災害時応急用井戸の整備を支援します。女性や子ども、高齢者等に配慮した災害備蓄品の充実や防火救命リーダーの育成にも努めます。常備消防体制では「マイナ救急」を本格運用します。

全文は市ホームページで  
ご覧いただけます。

